

こと京都が「モデル農家 ベスト 20」に掲載されました

P35
より抜粋

稼ぐプロ農家をお手本にしよう												
モデル農家ベスト20												
順位	組織名 本社所在地	代表者	主な作物	合計得点 (50点満点)	売上高	得点	作付面積 (ha)	得点	5年後の作付 面積増加率(%)	得点	作付時売/先 決定率(%)	得点
14	こと京都 京都府京都市	山田敏之	九条ネギ	38	5億円以上	10	25.0	2	60	6	100	20

稼ぐプロ農家をお手本にしよう

順位	組織名	代表者	主な作物	合計得点	売上高	得点	作付面積	得点	5年後の作付	得点	作付時売/先	得点
1	ウーランドファーム	上野 健一郎	キャベツ	50	5億以上	10	32.0	18	377	18	100	20
2	高野アグリビジネス	高野 隆雄	コメ	46	4000万	10	150.0	18	100	18	100	20
3	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	44	5億以上	10	44.5	4	369	18	100	20
4	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	42	5億以上	10	111.0	18	172	18	70	14
5	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	41	5億以上	10	80.0	8	75	7	100	20
6	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	41	5億以上	10	148.3	18	16	1	100	20
7	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	40	5億以上	10	125.0	18	60	6	80	16
8	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	40	5億以上	10	45.5	4	68	6	100	20
9	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	40	5億以上	10	410.0	18	22	2	90	18
10	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	39	5億以上	10	52.0	5	114	11	80	16
11	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	39	5億以上	10	50.0	5	60	6	90	18
12	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	39	5億以上	10	106.0	18	35	3	100	20
13	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	39	5億以上	10	100.0	18	20	2	95	19
14	こと京都	山田敏之	九条ネギ	38	5億円以上	10	25.0	2	60	6	100	20
15	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	38	5億以上	10	50.7	5	96	9	100	20
16	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	38	5億以上	10	40.0	4	300	30	100	20
17	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	38	5億以上	10	5.3	0	133	13	100	20
18	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	38	5億以上	10	68.2	6	43	4	100	20
19	ウーランドファーム	高野 隆雄	キャベツ	38	5億以上	10	25.0	2	60	6	100	20

週刊ダイヤモンド
2016 2/6号

P35
「モデル農家ベスト 20」にこと京都が掲載されました

P50-51
独立研修支援制度の第1期生が紹介されました

(上記ページより抜粋)

生産現場で研修を受けている濱田大輔さんは、20キロを超える九条ネギを満載したコンテナを軽々と運ぶ。すでにネギ栽培のプロフェッショナルだ。夏場は、1日4トンのコンテナを積み出す。いつか自分も」と奮起している。

京野菜を世界に売る
濱田 大輔



- 年齢 40歳
 - 職業 農業研修生
 - 前職 スポーツクラブ(インストラクター)
 - ビジョン
- 就農イベントでスカウトされ、京都府の農業生産法人「こと京都」に研修生として入社。スポーツインストラクターとして培った体力を武器に、九条ネギ栽培を学ぶ。2017年に独立予定。京野菜を外国のシェフに使ってもらうことが夢

P50-51
より抜粋

新規就農のページでは、独立支援研修生制度の第1期生である研修生も紹介していただきました

脱サラでも大丈夫! 先輩ファーマーのノウハウを盗め!

新規就農編

売上高6000万円を達成 山田 広彦

就農2年目で年収1000万円超 上野 健一郎

20代で年収700万円 森田 利太

京野菜を世界に売る 濱田 大輔

売上1億円を目指すファイター 中村 美紗

会計士がつかう農業経営 石川 法典

有力農家お墨付き! JA支持率ランキング

週刊ダイヤモンド

2016 2/6 710円

攻めに転じる大チャンス

儲かる 農業

就農2年目で 年収1000万円も 夢じゃない!

農家1900人 調査でわかった 5つの稼ぐ秘密

猪子はあと5年 現実味帯びる JA解体シナリオ

独占インタビュー 小泉進次郎が激白! 「補助金農政と決別」

稼ぐプロ農家をお手本にしよう

モデル農家ベスト20

順位	組織名 本社所在地	代表者	主な作物	合計得点 (50点満点)	売上高	得点	作付面積 (ha)	得点	5年後の作付 面積増加率(%)	得点	作付時売り先 決定率(%)	得点
1	ワールドファーム 茨城県つくば市	上野裕志	キャベツ	50	5億円以上	10	302.0	10	377	10	100	20
2	黒澤ライスサービス 宮城県涌谷町	黒澤伸嘉	コメ	46	6000万 ~1億円未満	6	150.0	10	100	10	100	20
3	ハラダ製茶農園 静岡県島田市	原田康次郎	茶、コメ、レタス	44	5億円以上	10	44.5	4	369	10	100	20
4	イカリファーム 滋賀県近江八幡市	井狩篤士	コメ、キャベツ	42	1億 ~3億円未満	8	111.0	10	172	10	70	14
5	まがのしま 栃木県栃木市	佐山 卓	コメ、ニラ	41	6000万 ~1億円未満	6	80.0	8	75	7	100	20
5	六星 石川県白山市	安田正和	コメ、餅	41	5億円以上	10	148.3	10	16	1	100	20
7	横田農場 茨城県龍ケ崎	横田修一	コメ、加工用米	40	1億 ~3億円未満	8	125.0	10	60	6	80	16
7	こめ奉行 広島県世羅町	立石和子	コメ、キャベツ	40	3億 ~5億円未満	10	45.5	4	68	6	100	20
7	野菜くらぶ 群馬県昭和村	澤浦彰治	レタス、コマツナ	40	5億円以上	10	410.0	10	22	2	90	18
10	スギヨファーム 石川県七尾市	杉野哲也	キャベツ、ニンジン	39	1億 ~3億円未満	8	52.0	5	114	10	80	16
10	トップリバー 長野県御代田町	嶋崎秀樹	レタス、キャベツ	39	5億円以上	10	50.0	5	60	6	90	18
10	穂海農耕 新潟県上越市	丸田 洋	コメ、ソバ	39	6000万 ~1億円未満	6	106.0	10	35	3	100	20
10	白浜宮農組合 愛知県津島市	伊藤忠夫	コメ	39	1億 ~3億円未満	8	100.0	10	20	2	95	19
14	まんま農場 岐阜県高山市	小林達樹	コメ、赤カブ	38	1億 ~3億円未満	8	40.2	4	200	10	80	16
14	ながさき南部生産組合 長崎県南島原市	近藤一海	タマネギ、イチゴ	38	5億円以上	10	200.0	10	5	0	90	18
14	森日光 三重県四日市市	森 勇志	コメ、コムギ	38	3000万 ~6000万円未満	4	50.7	5	96	9	100	20
14	北浦郷 秋田県仙北市	辻 均	コメ	38	3000万 ~6000万円未満	4	40.0	4	300	10	100	20
14	グリーンファームらぱん 埼玉県滑川町	渡邊聖文	トマト	38	1億 ~3億円未満	8	5.3	0	133	10	100	20
14	グリーン 新潟県長岡市	平石 博	コメ、トウモロコシ	38	1億 ~3億円未満	8	68.2	6	43	4	100	20
14	こと京都 京都府京都市	山田敏之	九条ネギ	38	5億円以上	10	25.0	2	60	6	100	20

モデル農家
ベスト20の見方

担い手農家アンケート(詳細は33ページ参照)の回答を基に、本誌が独自に有力な農家をリスト化した。50点満点。配点は以下の通り
 指標1) 売上高(10点)・・・「1000万円未満」=0点、金額が大きくなるほど得点が高くなり、「3億円以上」を10点とした
 指標2) 作付面積(10点)・・・所有地と借入地の合計が「10ha未満」=0点、……「90ha以上、100ha未満」=9点、「100ha以上」=10点とした
 指標3) 5年後の作付面積増加率(10点)・・・「増加率10%未満」=0点、……「90%以上、100%未満」=9点、「100%以上」=10点とした
 指標4) 作付時、売り先決定率(20点)・・・「5%未満」=0点、……「95%以上、100%未満」=19点、「100%」=20点とした

大企業を凌ぐ驚異の収益性

農家の知られざる稼ぎは?

58.9%
(粗利率)
コメ農家A社
(農地の地代が無料の地域)

農業を節約。雑草が生えて、コメの面積当たりの収穫が減ったっていうよ。うまいコメができれば

利益は内緒です。やっぱり農地が安く借りられなくなるので。外車にもあえて乗りません

37.9%
(粗利率)
コメ農家B社
(農地の地代が有料の地域)

38.5%
(粗利率)
レタス農家C社

トマトの養液栽培は、工場と一緒に。社員への給料も他産業並みに払えますよ

2015年は最高益! 野菜の相場が良かったのも追い風でした

35.0%
(粗利率)
トマト農家D社

Part 7 プロ農家編 お手本農家が伝授する 門外不出の稼ぐ秘密

「儲かる農家」とはどんな農家なのか。ありそうでなかった有力農家の実像を、アンケートと徹底取材であぶり出した。農業経営のエッセンスが詰まった保存版をお届けする。

農業を儲かる産業へ……。遅ればせながら、政治が動き始めた。農業の「健全化」が進むことは、経営マインドのある農家にとっては渡りに船だ。攻めに転じる大チャンスが訪れている。

PP (環太平洋経済連携協定) 交渉のさなか、ハチマキ姿で保護を求める農業関係者の印象が強いせいなのかどうか。農業が将来有望な成長産業である、と認識している読者は少ないかもしれない。

だが、実情は異なる。農業で成功している経営者はいくらだっている。農家イコール弱者であるとは言い切れないのだ。

本誌が実施した「担い手農家アンケート」(詳細は33ページ参照)では、1925人の農家から回答を得た。彼らの全てが、規模拡大意欲のある有力農家である。

本誌では、回答者である担い手農家を、経営規模や販売力など4つの指標を用いて評価しランキングを作成した。1925人の有力農家の中から上位20人を選ばれたのが左ページ上表に示した「モデル農家」だ。それぞれが強いリーダーシップと経営マインドを兼ね備えた経営者ばかりである。

モデル農家に共通しているのは、まず、相場に振り回されない独自の販路を確保していることだ。また、ほとんどの農家が、極力農薬の使用量を抑えるなどしてコストを削減しつつ、同時に減農薬をうたうことで農産物の付加価値をアップさせている。

そこに、農協や補助金に依存する発想はまるでない。

とはいえ、日本の農家は、良く言えば「地域の絆」、悪く言えば「しがらみ」と無縁ではいられない環境下にあった。農協と反目し合ったり、独自の取り組みで差別化を図り、儲けたりすると、たちまち農家仲間から爪はじきにされる雰囲気があった。

だが、時代は変わった。引き金を引いたのはグローバル競争だ。地盤沈下する国内農業をより立てようと、志の高い農家たちは「秘中の秘」である経営ノウハウを開示し始めた。次ページ以降では、モデル農家の稼ぐ秘密に迫る。

脱サラでも大丈夫! 先輩ファーマーの

ノウハウを盗め!

農業への扉が開かれている。雇われの身で“稼ぐ”こともできるようになり、就農の在り方は多様化している。

売上高6000万円を達成

山田 広治



- 年齢 44歳
- 職業 農業経営 (12haでキャベツなど生産)
- 前職 青年海外協力隊 (ボツワナ)
- ビジョン

就農イベントで、群馬県の農業生産法人「野菜くらぶ」の澤浦彰治社長と出会う。同社での研修を経て2002年に独立。青森県に移住し、キャベツ、レタスなどを生産し、同社に販売。15年の売上高は6000万円。家族5人で田舎暮らしを満喫

就農2年目で年収1000万円超

上村 健一郎



- 年齢 45歳
- 職業 農業経営 (4haでレタスなど生産)
- 前職 飲食店経営 (弁当の製造・販売)
- ビジョン

テレビ番組で、長野県の農業生産法人「トップリバー」の嶋崎秀樹社長が農業で独立する社員に400万円を手渡すのを見て同社に入社。研修後に同県内で独立。2015年の売上高は2600万円、年収は1000万円超を達成

20代で年収700万円

桑畑 翔太



- 年齢 28歳
- 職業 ワールドファームの熊本工場長
- 前職 花卉専門の農業生産法人
- ビジョン

作った野菜をカットして売ると会社のビジネスモデルに可能性を見いだす。上野裕志社長が目指す、若手リーダーの年収を1000万円にする目標も「十分に可能だと思う」と自信。スタッフは共に登山に行くなど仲が良く、職場に活気がある

京野菜を世界に売る

濱田 大輔



- 年齢 40歳
- 職業 農業研修生
- 前職 スポーツクラブ (インストラクター)
- ビジョン

就農イベントでスカウトされ、京都府の農業生産法人「こと京都」に研修生として入社。スポーツインストラクターとして培った体力を武器に、九条ネギ栽培を学ぶ。2017年に独立予定。京野菜を外国のシェフに使ってもらうことが夢

売上高1億円を目指すファイター

中村 美紗



- 年齢 27歳
- 職業 学生 (日本農業経営大学校)
- 前職 プロキックボクサー
- ビジョン

梨農家出身。「きつそう」「お金がなさそう」という農業の既成概念を打ち壊す。稼げるブドウ農家になって、「こんな農家になりたい」と、憧れられるのが夢。販売先を自分で確保して、売上高1億円を目指す

会計士がつくる農業経営

石川 法泰



- 年齢 27歳
- 職業 学生 (日本農業経営大学校)
- 前職 監査法人 (公認会計士)
- ビジョン

22歳で公認会計士資格を取得。数字で経営を読むスキルを農業に生かし、非農家出身でも参入できる新しい農業経営モデルを模索。多品種の野菜などを生産コストを把握して作り、自分で決めた価格で売る

ツシヨナルだ。夏場は、1日4リットルの水を飲むことがあるなどハードな作業もあるが、研修先の農業生産法人の社長や、先に独立していった先輩が農業で稼ぐ姿を見て、「いつか自分も」と奮起している。

本誌の「担い手農家アンケート」で、「儲かる農業」のモデル農家に選ばれた農業生産法人「ワールドファーム」(詳細は36頁参照)のホープである桑畑翔太さんは20代の若さで年収700万円を稼ぐ。同年代の平均年収よりずっと上だ。ただし、本人によれば「若い先輩たちを引き連れて食事に行き、独演会」を開くため、出費はかさむ」とのこと。

経営者として独立する選択肢は、雇われ農業に比べてハイリスクだが、成功すれば高いリターンが期待できる。

上村健一郎さんと山田広治さんは、独立志向の農家の登竜門である農業生産法人で働きながら農業を学び、独り立ちした。共に出身の法人を通して農産物を販売しているため、自らは野菜を作ることには集中できるのが強みだ。

山田さんは昨年、売上高6000万円を達成。「農業で儲けるなんて大げさだと思っていたけれど、最近、意外と儲かるようになってきた」とほくほく顔だ。

広

々とした自然の中で働き、しかも、しっかり稼げたら……。そんな夢を抱き農業に参入する人が増えている。

10年ほど前、新規就農のイベント会場では、勧誘する側の農家が就農希望者を門前払いしたり、「そんな覚悟で農業ができると思っていないのか」などと、説教を垂れたりすることも珍しくなかった。

だが、最近の農業は懐が深い。農家の高齢化に悩む農村側も柔軟な姿勢で、多様な人材を受け入れるようになってきているのだ。

石川法泰さんと中村美紗さんは東京都内の日本農業経営大学校で農業を学ぶが、2人とも寄り道をしてから、農業の道に進んでいる。

石川さんの前の職場は監査法人脱サラ組だ。公認会計士として培った数字から経営を分析する力で農業に挑む。農家というより、コンサルタントのような語り口で、将来の夢を語る。

元格闘家の中村さんは獲物を逃さない嗅覚と、格闘技イベントの運営で培った企画力・営業力で農産物の販路を自分で確保する経営を目指す。

生産現場で研修を受けている濱田大輔さんは、20歳を超える九条ネギを満載したコンテナを軽々と運ぶ。すでにネギ栽培のプロフェ